

ウォーターヒヤシンスのお手入れ

- ・ 普段は柔らかいブラシ、または掃除機などで、編み込み部分のゴミ・ほこり等を取り除いてください。
- ・ 汚れが目立つ時は、ホコリを払った後に、強く絞った濡れタオルで拭き掃除してください。その後は、柔らかい布で余分な水分を取り除くように乾拭きをしてください。吸湿性が高いので水拭きを行う際は、出来るだけ固く絞ってから目立たない部分でお試しく下さい。また、最後には、必ず換気等による自然乾燥を行ってください。
ホコリを払う前に濡れタオルを使うと、ホコリの汚れが製品に付着してしまうので、ご注意下さい。
- ・ 湿った状態でご使用されたり、湿度の高い時期などは、カビが発生する可能性がございますので、ご注意ください。
- ・ 万一、カビが生えてしまった場合は、タオルなどで綺麗に拭き取り、十分に乾燥させてください。また、消毒用アルコールで拭きとると効果的です。

ストーンカービングのお手入れ

- ・ ハタキや掃除機などでホコリ等を取り除いてください。
- ・ 濡れ雑巾やオイルのご利用は、ホコリが天然石に滲んでしまうので避けてください。
- ・ 万一、ホコリなどの汚れで天然石に滲みが生じた場合は、目の細かいサンドペーパーなどで削ぎ落として下さい。ただし、その際は、目立たない場所からお試しく下さい。
- ・ 天然石は非常にやわらかい素材ですので、彫刻の欠けなどに十分ご注意ください。

クッションカバーのお手入れ

- ・ クッションカバーはすべて取り外すことができますので、カバーを取り外して丸洗いができます。洗濯の際は、「ドライモード」を使用し、影干しを推奨します。
- ・ 天然素材を用いた製品の為、直射日光の当たる場所に設置されますと日焼けの原因になります。
- ・ クッションカバーは、静電気等によるホコリの付着は避けられませんが、ご了承ください。また、ホコリが目立つ時はコロコロやハタキなどで払ってください。

マホガニー材のお手入れ

- ・ 強く絞った濡れタオルで拭き掃除をしてください。
また、月に1・2回のペースで「オレンジオイル」などを使い表面を磨く事により、オイルの効果で木材表面に膜を作り、乾燥による反り・割れ等を緩和することができます。

ウォーターヒヤシンス部分の傷が目立つ時のメンテナンス

天然素材を編み込んで作られている為、ご利用になられていると、座った際の衝撃や体部分の摩擦などにより多少の傷・ほつれになる場合があります。
その際には、市販の「木工用ボンド」をヒヤシンスのほつれ部分に塗り、指先で優しく形を整えてください。
木工用ボンドは乾くと透明になりますので、補修部分は目立たなく綺麗に仕上がります。
また、色が抜けてしまった部分にはペンシルタイプの補修剤等で色を塗ることで簡単に目立たなくできます。

天然素材であるウォーターヒヤシンスやマホガニー材は、温度・湿度・気象条件に応じて湿気を吸収します。また、長時間、直射日光や冷暖房の風に当たりますと、反りや割れ、退色の原因となりますのでお避け下さい。特に冬場の乾燥には十分ご注意いただき、加湿器などを使用することをお勧めします。劣化を防ぐために、適度な温度・湿度・換気を心掛けて末永くご愛用ください。

